

お客様へのメッセージ冊子

この冊子は、お客様に向けたセゾン投信のメンバーの思いや、応援いただいている方々のメッセージを集めたものです。ぜひ、ご一読ください。

下記は必ずお読みください。

この資料は、セゾン投信の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく、開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。

情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。

この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者（以下「情報提供者」）に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。

この情報は、閲覧者ご自身のみのものであり、転載、または、第三者への提供は禁止します。

このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。

投資信託の取得を希望される方は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）を十分お読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号等	: セゾン投信株式会社
金融商品取引業者	: 関東財務局長（金商）第 349 号
加入協会	: 社団法人投資信託協会
お問い合わせ先	: セゾン投信お客様窓口 TEL03-3988-8668 (受付時間 9:00 ~ 17:00 土日祝日、年末年始除く)
	http://www.saison-am.co.jp

長期投資家仲間へのメッセージ VOL.11

21世紀の日本への思い

2008年2月1日

21世紀型経済構造

米国はサブプライムショックをきっかけとして、経済成長は明らかに鈍化し始めました。サブプライムローン関連の損失の大半は金融機関やヘッジファンドなどが蒙り、大多数の一般生活者にとっては関係ない出来事ではありますが、これを端緒として既に一昨年にはピークをつけていた住宅市況の悪化が、米国民全体の楽観を悲観に変えつつあることは確かであり、当面ある程度の個人消費の落ち込みは避けられないでしょう。ここで大切なのは、市場経済においては長い経済活動の過程で好不況の波を繰り返しながら成長していくわけで、長期投資家は長い時間軸に立脚した大河の経済サイクルにしっかりとフォーカスしていくことが大切なのです。米ソ冷戦終結以降の21世紀型世界経済は、史上初めて経済活動がひとつの地球で営まれるようになり、国境を越えて世界の巨大企業同士が一つの市場として競い合うグローバル化の時代に突入しました。圧倒的な労働力で工業大国へと変貌する中国、そしてその後を追うインド、膨大な天然資源を基に資源大国として世界経済への影響力を高めるブラジル、ロシアなどの新興大国は成長のエネルギーを湧き出させ、世界は新たな経済構造を築きつつあります。これらBRICs大国はもちろん、次に続く新興国群ではいずれも成長を見据えたインフラ整備や生産基盤の構築が必定であり、巨額の設定投資と成長の歩みに伴う消費の拡大というおそらく極めて長く大きな成長軌道のサイクルが始まったのです。経済成長が先進国だけの世界であった20世紀型から、21世紀はアジア・中南米からアフリカに至るまで多くの人民が進歩を知り、グローバル経済に組み込まれた地球一体型経済成長に変貌していくのでしょうか。これが大河の経済サイクルなのです。

日本経済のチャンス

さて日本はサブプライムショック以降の金融市場におけるマネーの流れが変転する中で、多くの市場参加者から最も悲観的な市場と評価されているようです。では日本経済の潜在力を私たち長期投資家が見据える大河のサイクルの中に見出してみましょう。まず21世紀型地球経済では、世界的エネルギー需要の急増から電力・水資源といったエネルギーインフラへの投資は急務です。更に道路・鉄道・港湾といった物流基盤に至るまで、新興国の社会基盤整備への需要は莫大です。その次には世界的環境問題への対応が国家・企業を問わず巨額の投資需要を生み出すでしょう。そしてそれらの設備投資に必要な素材から工業製品、その先にある消費財に至るまで、新興諸国の人々の生活レベルの進歩を伴ってすさまじいニーズが想定されます。こうした世界経済の新たな潮流は、日本企業にとって最も有利な状況です。極めて高いレベルの技術力が要求されるこうした巨大な需要は、この先

長期に安定した拡大が見込める市場であり、もの作り国家日本の殊に重厚長大産業にとってはとてつもない、あるいは他に代替するものがない千載一遇のチャンスが訪れています。裏を返せば、それは日本の製造業が 21 世紀型のグローバル経済の中で生き残りをかけて、崖っぷちでまさに命がけでリスクをとり変革を遂げていった結果として得られたステージであり、自ら努力し行動した企業のみにも与えられる機会なのです。そしてこれが自由経済を生き抜くための宿命でもあるのです。

逆戻りの日本

現在金融市場参加者が「ジャパンパッシング」と言って日本の将来を悲観的に捉えている最大の理由は構造改革路線の退潮にあります。政治の停滞をねじれ国会のせいと帰結させ、だから仕方ないという雰囲気世論の風潮にもなっています。しかしながら政治が悪い、行政が悪いと犠牲者顔で小田原評定を見物している全国民がいみじくも議会制民主主義のもと選んだ政治であり、ねじれ国会を容認している私たち生活者こそ責任を感じるべきではないでしょうか。「何もしない日本」を招いている根本は、20 世紀の社会構造に根付いたお上依存体質から脱し切れない国民意識の集積に起因しているとは言えないでしょうか。地域格差問題がいたずらにクローズアップされ、公共事業や補助金のバラマキの正当化に誘導されていますが、そこには次世代が背負わされる負担、将来社会への思いを馳せるといふ、社会に生きる者として当然の責務が欠如しているように思われます。将来へのツケの先送りは、若年層そして次世代の人々へのハラスメント・虐待と同じです。21 世紀の成熟国家日本は最早全体主義的分配論では成立し得ないのです。このまま分配型社会を続けることは、国民全体を均しく貧しくする結果にしかならないということです。構造改革の歩みを止め中央から不効率な分配を続ければ日本国の衰退は免れないと、世界の投資家は日本の現状を冷徹に判断している結果が現在の日経平均株価に顕著に反映されています。

自立した国家への思い

高度成長期の日本は、成長の富を官僚主導体制によってうまく国民に分配してきました。この時期の日本が最も成功した社会主義国家といわれる所以です。しかし 21 世紀の成熟国家日本においては、分配できるのりしろは尽きています。そうした大局的事実に目を背けて相変わらず格差を嘆き、他人の懐をあてにするのは単なる思考停止であり進歩の拒絶でもあります。他方実体経済においては、自立した企業たちが自らの意志でもって本気でグローバルな競争の中で勝負をし、世界の市場に次々と楔を打っています。日本の国際競争力の残された源泉です。同様に活力ある社会への変革には、自立した生活者の集積こそが源泉となります。地方経済の疲弊も、そこに居る生活者自身が行動して行くことでしか解決できないのです。まず生活者が自ら声を出し行動し始めることからです。自ら行動する生活者ひとりひとりの地道な積み重ねが、ビジョンあるリーダーを選び出し、生活者の思いを汲み上げて行政を動かすエネルギーとなるのです。そして各地域が強い意志を持って行動を実践し、変化の競争に挑むところから進歩が生まれます。自立した社会同士の善い競争が活力を高め合うのです。生活者ひとりひとりの自立した行動の結集こそが、21 世紀

のカッコイイ成熟国家日本への昇華の礎となるはずです。

セゾン投信は、長期投資という切り口から生活者ひとりひとりの自立に向けたお手伝いを
実現したいと考えています。長期投資の実践と継続から経済的自立が始まり、活力ある成
熟社会が自立した生活者によって営まれる、世界が羨むそんなカッコイイ社会作りに貢献
できれば本望だと思っています。永い永い長期投資の旅の目的地に必ず次世代に胸を張っ
て残せる日本があると、強い信念を持って「セゾン号」を運行して参ります。

セゾン投信株式会社
代表取締役社長 中野晴啓

パッションの継続が理想を実現する

株式会社マネックス・ユニバーシティ 代表取締役社長
内藤 忍

資産運用の基本は長期・低コスト・分散

「個人投資家が資産運用で着実な成果を実現するためのポイントは長期、低コスト、分散の3つ。すなわち、運用コストの低い商品を使って、資産をグローバルに分散し、長期でマーケットの成長からの果実を受け取る。地味ではありますが、このような方法が手間とストレスのかからず、運用スキルに関係の無い資産運用の王道であることは過去のマーケットデータが証明しています。しかし、残念なことに毎年多くの個人投資家が、日本株銘柄を安易に選択したり短期の売買によるトレーディング収益を狙い、最終的にマーケットから撤退していきます。成果の上がる方法よりも楽しく刺激のある方法を求めてしまうのです。

2007年は「新・投信元年」

しかし、昨年あたりから自分で株式の銘柄選択をするより、投資信託による分散投資の有効性に気付く個人投資家が増えてきました。そしてタイミングを同じくして本格的なインデックス型バランスファンドが相次いでデビューしました。

2007年1月には「マネックス資産設計ファンド」が、そして3月にはセゾン投信の「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」が登場。この2本がその後のバランス型ファンドブームの先駆けとなったのです。ようやく「楽しい投資」から「結果の出る投資」へ資金が動き始めたのです。その意味で2007年は個人投資家の「新・投信元年」だと思っています。

パッションが金融を変える

日本における個人投資家の運用環境は、優れた商品・サービスを提供したいと真剣に行動してきた人たちのパッション（＝情熱）によって進化してきました。その立役者の1人がセゾン投信の中野社長です。

中野社長とは長いお付き合いになりますが、セゾン投信をゼロから立ち上げ、米国のインデックス運用の最大手バンガードと日本の独立系投資信託会社であるさわかみ投信の両社とコラボレーションするという華々しいデビューを成し遂げました。これは、中野社長をはじめとするセゾン投信メンバーのパッションがあっただけで実現できたと思っています。

そしてこのパッションが、多くの個人投資家の心に響き、セゾン投信に対する期待となっているのです。この期待に対し、これから実績でしっかり応えていくことが求められます。

パッションの継続が理想を実現する

セゾン投信は、これからも直販による高品質・低コストを武器に成長を続けていくと思います。しかし同時に株式会社としての収益性も求められます。低コストということは、逆に言えば、純資産額をもっともっと増やさなければ最終的に事業として成り立たず、継続性のあるサービスを安定して提供できなくなるリスクがあるということです。

受益者から期待が高まっている信託報酬の更なる引き下げに挑戦しながら、同時に株主、従業員、社会といった他のステークホルダー（利害関係者）の利益を実現していかなければなりません。創業時のパッションを継続しなければそんな高い理想は実現できません。

今後の成長に伴い様々な困難に遭遇することもあると思いますが、セゾン投信には5年後、10年後と言わず、50年後、100年後にも今と変わらないパッションで理想を追い続ける個性ある資産運用会社であり続けて欲しいと思います。

同じフィールドにいる同士として、また良きライバルとしてセゾン投信の一層の飛躍を期待しています。

執筆者プロフィール

内藤忍（ないとう・しのぶ）

株式会社マネックス・ユニバーシティ 代表取締役社長

1986年東京大学経済学部卒。1991年MITスローン・スクール・オブ・マネジメント卒業(MBA)。大学卒業後、住友信託銀行、シュローダー投信投資顧問株式会社、株式会社マネックス（現マネックス証券）を経て現職。

年50回以上の資産設計セミナーの講師を務め、個人投資家への情報提供とアドバイスを続けている。早稲田大学オープンカレッジなど社外でのセミナー講師依頼も多い。日経マネー、マネージャパン、の雑誌連載も担当。

主な著作に、『内藤忍の資産設計塾』（シリーズ3部作。自由国民社）、『内藤忍の資産設計手帳のすすめ』（ダイヤモンド社）、『人生を豊かにするお金のルール』（アスペクト）『お金持ちになる投資成功ノート』（中経出版）など。

『個人のブログ』 <http://www.shinoby.net/>

セゾン投信の素顔

既に口座の開設をいただいた方含め、我々の取組みに興味や関心を持って見守っていただいている方へのメッセージ発信の場として「セゾン投信の素顔」を掲載しております。ここでは、セゾン投信で働くメンバーが日々感じたり考えたりしていることを紹介しています。セゾン投信で熱い思いを抱いて働いている私たちの人となりやを少しでも感じていただければ幸いです。

「象の背中」

余命半年、あなたならどうしますか？

象は、自らの死期を察知した時、群れから離れ、死に場所を探す旅に出るという。

自分の死を見せたくないのだろうか？

それとも、この世への未練を断ち切るためだろうか？

……俺にはできない。ひとり、孤独のまま、姿を消すことは出来そうにない。

……愛する者たちに見送られたい。（映画「象の背中」公式サイトより引用）

「象の背中」は誰もが迎える「死」をテーマにした映画で、末期癌で余命半年と宣告された主人公が、最後まで自分の人生を全うしたいという思いから延命治療を受けず、家族とともに最後のときを迎えていく姿を描いています。

ある日突然目の前に突きつけられた「死」に戸惑いながらも、しっかりと向かいあうことで死を受け入れ、「生きている」鼓動を感じながら残りの人生を過ごしていく姿は、私に「生きている今」の素晴らしさを改めて感じさせてくれるものでした。また、治療を受けて一日でも永く生きていて欲しいと願う家族が、死に直面した夫(父)の決意を尊重し、受け入れ、サポートしていこうとする姿には思わず涙してしまいました。

素敵な仲間や家族に囲まれて当たり前のように過ぎていく「今」に改めて感謝です。

佐藤 恭子

「東京の雪」

東京につい先日、雪が降りました。

珍しいことなので（実際、積雪は2年ぶりみたいです。）僕は雪をみるとワクワクしてしまのですが、この気持ちは、雪が頻繁に振る地域に住んでいる方には、ただ「雪をみるとワクワクする」ということを書いても同感してもらえないかもしれません。

きつと言いたいことは、言えば伝わるものではなく、常に受け取る人のことも考えながら、携帯でメールを打つ時も、文章を書くときも（勿論、仕事でも）気持ちや考えが正しく伝わる言葉を選んでいきたいと思っています。

言葉を選ぶのは本当に難しいと思います。でもその分、いい影響を受けた言葉は心の中で大切にしています。

そんな中であって、最近心の支えになっている言葉は「なるようになる」という言葉です。力を与えてもらった素晴らしい言葉です。

仕事ではそうはいきませんが、私生活では「なるようになるさ」の心意気をもって、心は常に前向きに、大切に思うことを大事にしながら生きていきたいと思います。

市本 宏

「自己判断、自己責任」

買い物をしている時など陳列されている商品や食品等に目を向けるとその種類の豊富さに狼狽してしまうことがあります。例えば、私は電化製品に対する知識が乏しいので多種多様に揃えてある品を目の当たりにすると、それぞれにどこがどう違ったり、どのような機能に優れているか判断できないので最終的には店員に聞いたり謳い文句に釣られて決めることが多いのですが・・・後になってもっと低額でしかも使い勝手のいいものが他にもあったのに！ということも少なくありません。現代のように物質や情報が溢れているときこそ、知識とそれを識別し選択する力がとても大事なのだと痛感します。

自分で選ぶ、判断するという行為はとても自由な反面、リスクがあります。自由とリスクは表裏一体の関係なので、何をするにおいても選んだ先、どのような結果に落ち着こうとそれに対する責任は自分にあるのです。だからこそ自分にとって何が適切かそうでないかを見定め、しっかりと芯をもつことが生きていくうえで大事なことで暮らしを豊かな方向へ導く鍵になると思うのです。

白方 有紀

「独断お笑い談義」

ぼくは根っからの関東人なので、東のお笑いにこそシンパシーを覚えます。タカ&トシは札幌の芸人です。あのリズムカルな反復ツッコミにはいつも元気をもたらしてます。関東のお気に入りインパルス。ちょっと社会風刺を含んだアイロニックさが心に沁みてしまいます。そして直近で嬉しかったのは、仙台出身のサンドイッチマンが「M-1グランプリ」を見事獲得したこと。どこにでもいそうなメタボ風オッサンのいじられツッコミにはまさに一目惚れでした。1年以上前から秘かに注目していたぼくの期待の星だったので、自分の感性が認められた思いで感激ひとしおです。みんなで応援しましょう。ゴルフ絶不調な今日このごろは尚更お笑いが心の安らぎです。

中野 晴啓

セミナー情報

<セゾン投信主催セミナー>

日時 : 2月20日(水) 19:00~20:30 【横浜】
 テーマ : 「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」について
 講師 : 加藤 隆 氏(バンガード・グループ駐日代表)
 中野晴啓(セゾン投信社長)
 場所 : 崎陽軒本店 6階 3号室(住所:横浜市西区高島2-13-12 崎陽軒本店)
 費用 : 無料

日時 : 2月26日(火) 19:00~20:30 【東京】
 テーマ : 長期投資で豊かになろう
 講師 : 房前督明 氏(ファンドコンサルティングパートナーズ代表)
 中野晴啓(セゾン投信社長)
 場所 : ベルサール神田 Room5(千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル3F)
 費用 : 無料

日時 : 2月29日(金) 19:00~20:00 【東京】
 テーマ : 「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」について
 講師 : 当社運用部社員
 場所 : セゾン投信会議室(住所:豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60・54F)
 費用 : 無料

<セゾン投信1周年記念セミナー>

日時	場所	人数
3月14日(金) 19:15~21:15	【大阪】 ハートンホール マーガレット (大阪府大阪市中央区南船場4-2-4 日本生命御堂筋ビル12F)	170
3月16日(日) 13:30~16:30	【東京】 ベルサール神保町 Room3~5 (東京都千代田区西神田3-2-1 住友不動産千代田ファーストビル南館3F)	200
3月19日(水) 19:00~21:00	【名古屋】 中日コンサルティングプラザ (愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル6F)	80
3月20日(祝) 15:00~17:30	【仙台】 ホテルサンルート仙台 菊 (宮城県仙台市青葉区中央4-10-8)	80
3月22日(土) 13:30~16:30	【福岡】 アスク(ASC)ビル 2F (福岡県福岡市博多区博多駅東1-16-25)	100
4月9日(水) 19:00~20:30	【大宮】 ソニックシティビル 研修室905 (埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 9F)	60
4月12日(土) 14:00~17:00	【札幌】 札幌市文化教育会館 研修室301 (北海道札幌市中央区北1条西13丁目)	130
4月19日(土) 14:00~17:00	【広島】 東区民文化センター 大会議室 (広島県広島市東区東蟹屋町10-31)	60
4月20日(日) 12:30~15:30	【倉敷】 倉敷ターミナルホテル 瀬戸 (岡山県倉敷市阿知1-7-2-901)	80

<講師参加予定一覧>

講師名	3/14 (金) 大阪	3/16 (日) 東京	3/19 (水) 名古屋	3/20 (祝) 仙台	3/22 (土) 福岡	4/9 (水) 大宮	4/12 (土) 札幌	4/19 (土) 広島	4/20 (日) 倉敷
竹川美奈子氏	-		-	-	-	-	-		
岡本和久氏		-	-	-		-	-	-	-
村山甲三郎氏	-		-		-	-	-	-	-
渋澤健氏	-	-	-	-	-	-		-	-
澤上篤人氏			-			-			
加藤隆氏	-			-			-	-	-
中野晴啓									

<講師プロフィール>



竹川美奈子 氏 (ファイナンシャル・ジャーナリスト)

出版社勤務などを経て独立。1999年ファイナンシャル・プランナー資格を取得。現在は新聞やマネー関連の雑誌や書籍、新聞などで幅広く取材・執筆活動を展開する一方、ライフプランナーや確定拠出年金セミナーの講師などを務めている。
著書に「投資信託にだまされるな！本当に正しい投信の使い方」など。



岡本和久 氏 (I-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社 代表取締役)

慶応大学経済学部卒。大手証券会社入社、ニューヨーク現地法人、情報部などで証券アナリスト・ストラテジスト業務に従事、1992年、現在のパークレイズ・グローバル・インベスターズ日本法人を設立、2005年まで13年間代表取締役社長として年金運用業務に携わる。2005年5月、個人投資家向け投資セミナーを行なうI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社を設立、代表取締役社長に就任。
著書に「30歳からはじめる『品格のあるお金持ち』になれる資産形成マニュアル」など。



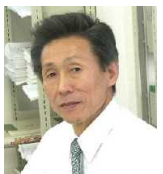
村山甲三郎 氏 (ありがとう投信株式会社 代表取締役)

三井銀行(現、三井住友銀行)、ゴールドマン・サックス証券、CIBC ウッドガンディ証券、ストロングキャピタルマネジメントインターナショナル社に勤務。2004年にありがとう投信株式会社の設立に参加し、代表取締役に就任。
著書に「長期運用時代の大本命！ファンドオブファンズ入門」。



渋澤 健 氏 (シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役)

財団法人渋沢栄一記念財団理事、社団法人経済同友会幹事など。
JP モルガン、ゴールドマン・サックスなど外資系金融機関を経て、96年米大手ヘッジファンドのムーア・キャピタルマネジメント(NY)入社。2001年シブサワ・アンド・カンパニー株式会社を創業し、代表取締役に就任。
著書に「巨人・渋沢栄一の富を築く100の教え」など。



澤上篤人 氏 (さわかみ投信株式会社 代表取締役)

1970年からスイスのキャピタル・インターナショナル社のファンド運用担当者を務めた後、スイスのピクテ銀行日本代表。1999年に設立し、社長に就任したさわかみ投信は、日本における長期運用のパイオニアとして熱い支持を集めている。



加藤 隆 氏 (バンガード・グループ駐日代表)

1977年東京銀行入社。1984年より資産運用業務に従事。インターセック・リサーチ、シ
ュロダー・インベストメント、ABNアムロ・アセットを経て2005年4月より現職。
その間、ファンドマネージャー、コンサルタント、営業担当役員、日本支社代表を歴任。

セミナーの詳細、お申込につきましては当社ホームページから「セミナー情報」をご覧ください。

URL <http://www.saison-am.co.jp>

セミナーに関するお問合せ先

セゾン投信お客様窓口 TEL 03-3988-8668 (9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)

ご留意事項

上記セミナーにおきまして、セゾン投信が設定、運用、販売を行う投資信託の勧誘を行うことがあ
ります。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、
購入時の価額を下回ることもあります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書（交
付目論見書）に詳しく記載されております。ご購入に際しては、必ず投資信託説明書（交付目論見
書）の内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

よくあるご質問

家族でセゾン投信に総合取引口座を開いていますが、投資信託の購入代金は同じ振
込先の口座番号に振込名義人を変えて振込めばいいのでしょうか。

当社ではお客様ごとに個別の振込先口座番号を割り当てさせていただいております。お振込みの
際は、必ず「口座開設完了のご通知」に記載された「振込先口座番号」に口座名義人様ご本人名
義でお振込みください。

以下の場合エラーとなり、お客様にお振込みいただいた金融機関で「組戻し」のお手続をとっ
ていただく場合がございますのでご注意ください。

口座名義人様の前後にセゾン投信の口座番号やお客様のお電話番号などを入力した場合。

ご家族様（ご本人様以外）の「口座開設完了のご通知」に記載された「振込先口座」にご本
人様名義で振込まれた場合。誤った口座番号にお振込みされた場合。

取引報告書が届かないのですが。

総合取引口座開設時に「取引報告書等の書面の電子交付に関する承諾書」にご捺印いただいておりますと「取引報告書」等は電子交付となり、書面は郵送されません。ご覧いただくにはセゾン投信ネット取引にログインいただきが必要です。電子交付の場合、郵送の時間がかからないため書面よりも早くご覧いただくことができ、保管の手間もかかりません。また、過去の取引報告書の検索も簡単に行なえます。

書面での交付をご希望の場合は当社お客様窓口までお問合せください。

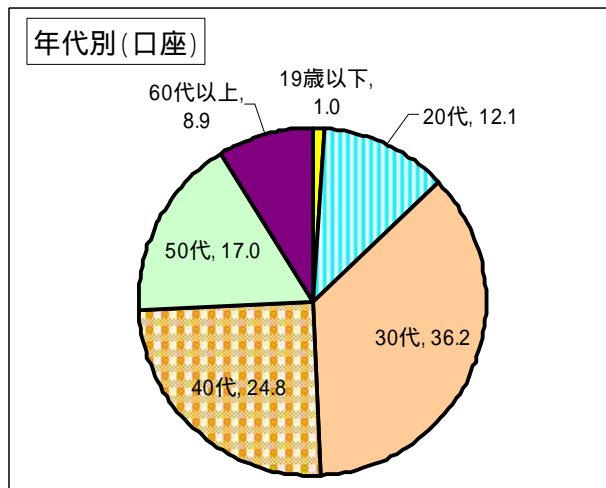
セゾン・バンガード・グローバルバランスファンドの運用報告書に記載されている、
1万口当たりの費用の明細の「財産維持手数料」とはなんのでしょうか。

財産維持手数料とは、当ファンドの信託財産から買付もしくは換金（解約）した際に、ファンド
自身に直接支払われるいわば留保金で、買付もしくは換金（解約）に関わる証券取引コストによ
ってファンドの信託財産が目減りすることを防ぐものです。新たに投資対象ファンドを買付した

人、または途中換金（解約）した人と、その投資対象ファンドを継続的に保有している人（既存投資家）との公平性を確保するための費用であり、販売手数料や解約手数料とは異なるものです。

バンガード社の運用するファンドには多数の投資家が参加しており、対象のファンドには投資がおこなわれるたびに、この留保金がファンド資産へ直接入ってくることとなります。継続的に保有をしている当社のような長期投資家にとっては、継続保有による公平性が損なわれないという点で運用成果にプラスとなり得る手数料とも言えます。

セゾン投信 会員数（2008年1月末日）



21,164 口座

TOPICS :

おかげさまで1月に、累計2万名の方に口座を開
設していただくことができました。
皆様からのご支援の賜物であり、心より御礼を申
上げます。
また、全体の約65%の方に定期積立プランをご
利用いただいております。

法人口座データ除く

当社のファンドに係るリスクについて

当社の運用、販売するファンド（以下、当ファンド）はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当社のファンドに係る費用について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

<セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド>

申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.4935%（税抜0.47%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.77%±0.02%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）監査報酬（消費税含む）、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

<セゾン資産形成の達人ファンド>

申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.567%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.3%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）監査報酬（消費税含む）、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。